

株主・投資家との対話の実施状況（2023 年度）

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上の一助としていくために、財務・IR 担当役員と、IR 担当部門を中心に株主との建設的な対話を行い、対話のなかでいただいたご質問・ご意見については、適宜、経営陣・取締役会にフィードバックを行っています。

なお対話に際し、当社関連部門で事前に公表可能な情報を確認する等、インサイダー情報の管理を徹底しています。

2023 年度における株主との対話の実施状況は、以下のとおりです。

【2023 年度における株主・投資家との対話の実施状況】

IR イベント	実績（回数）	活動状況（役職等は活動実施当時）
決算説明会	2 回 参加人数 42 名	代表取締役社長 兼 CEO、財務・IR 担当取締役、取締役（グローイング事業本部長）が出席し、開催
IR 個別面談	57 回	IR 担当役員・総務広報部が中心となり個別面談を実施

【対話の主なテーマ】

- ・積水樹脂グループビジョン 2030 について
- ・セグメント別の状況について
- ・成長戦略について
- ・資本コストや株価を意識した経営への取り組みについて
- ・資本戦略・株主還元について

【対話をふまえた対応状況】

当社は、株主・投資家からいただいた意見を経営陣へフィードバックし、社内関係各部と協議の上、適宜、経営に活かしております。

2023 年度の具体的な事例は、以下のとおりです。

- ・英文開示の拡充（決算説明会資料、重要な適時開示等）
- ・中期経営計画でのキャッシュアロケーションの開示
- ・資本コストや株価を意識した経営への取り組みについて取締役会で複数回の議論の上、中期経営企画に織り込み
- ・株主還元方針に累進配当と総還元性向を組み入れ 等